

# 日本協同組合学会 Newsletter

Vol. 25 No. 2 (通巻 66 号)

2014 年 3 月 31 日

## ～春季研究大会ご案内号～

発行 日本協同組合学会 責任編集 会長 柳沢敏勝  
〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町 11 番地 飯田橋レインボービル 5 階  
J C 総研 (日本協同組合総合研究所) 協同組合研究部内 日本協同組合学会事務局  
TEL:03-6280-7254 FAX:03-3268-8761 E-mail:kyodo-gakkai@jc-so-ken.or.jp  
ホームページ (移行しました…本文参照):  
(旧) <http://coopstudies.jp> → (新) <http://coopstudies.jimdo.com/>

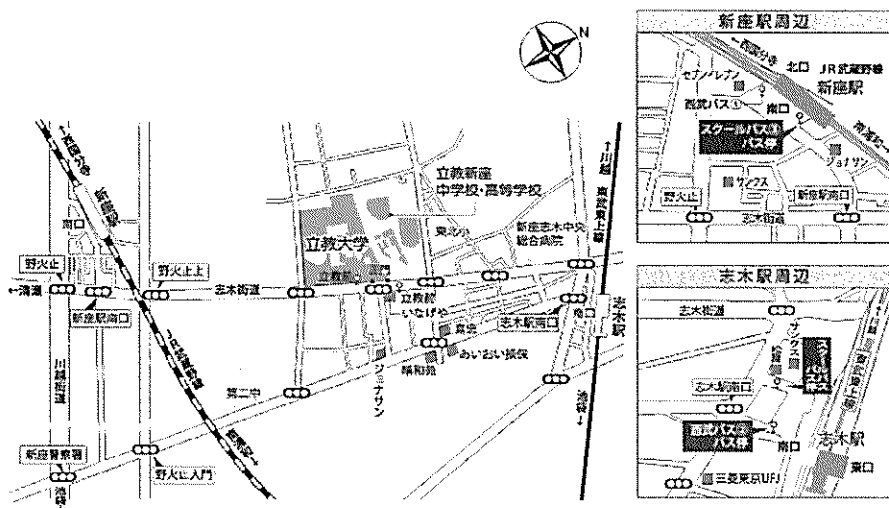
## 日本協同組合学会 第 33 回春季研究大会のご案内

開催日: 2014 年 5 月 17 日 (土) 10:00~16:50

会 場: 立教大学・新座キャンパス (埼玉県新座市北野 1-2-26)

東武東上線志木駅下車 (南口より徒歩 約 15 分) 下記案内図参照 (立教大学 HP より)

※池袋キャンパスではありませんので、くれぐれもご注意ください。



テーマ: 「小さな協同」論を考える

— 協同組合の可能性と実現条件 —

### <申込案内>

参加費: 1,500 円 ※非会員は 2,000 円

懇親会参加費: 4,000 円 ※学生は 3,000 円

報告要旨集のみ希望者: 1,800 円 (送料込 振込手数料はご負担ください)

☆ 参加・不参加などを同封のハガキに必要事項を記入のうえ、5 月 2 日必着で送付してください。

日本協同組合学会 第 33 回春季研究大会実行委員会

実行委員長 北島 健一 (立教大学)

## ●テーマの趣旨・ねらい

北川 太一 (福井県立大学)

2012年の国連・国際協同組合年も契機となって、協同組合の存在意義ならびに社会的な役割への期待が改めて高まりつつある。とりわけ、一般企業との厳しい競争にさらされている協同組合にとっては、事業対応のための組織の大規模化や連合会主導型の事業展開が進まざるを得ない状況の中で、組合員・地域住民の暮らしを守ること、地域の農林漁業の振興を支援し豊かな農山漁村づくりに寄与すること、さらにはエネルギー・資源環境の保全などの問題に取り組むことを、小地域で行うことが求められている。いわば事業・組織が大規模化した協同組合の中に「小さな協同」のしくみを創ることが重要な課題となっている。

そこで本シンポジウムでは、以下の点に留意しながら、協同組合が「小さな協同」を創ることの可能性と実現条件（取り組むべき課題と実践方策）について、農業・農村・農協、林業・山村・森林組合、漁業・漁村・漁協・女性起業、労働・福祉・社会的企業をキーワードとした報告をもとに、議論していきたい。

- ① 「小さな協同」を形成するために、協同組合が有する人的資源、事業展開の方式・経験、参加・参画などを重視する運営方法などが、どの程度有効なのか(現代的にクリアすべき課題は何か)。
- ② 近年、地域の現場では「小さな協同」を意識した住民主体の多様な取組みが展開しつつある(集落型農業法人、農漁村女性起業、地域共同店、暮らしの助け合い・就労支援や雇用の場づくり、資源の保全・活用やエネルギー対応など)。こうした活動と既存の協同組合との連携はどこまで可能か。連携が可能だとすれば、緩やかなネットワークを紡いでいくための協同組合と地域のガバナンスはどうあるべきか。
- ③ できる限り、農協、漁協、森林組合、生協等、既存の協同組合を正面に据えながら、事例・現場の実態を踏まえたうえでの実践的な「論理」構築をめざしていきたい。報告者は、協同組合に関心を持つ後継者の発掘・育成・場づくりを視野に入れながら、30歳代の若手研究者にお願いをした。報告内容は、体系的で完成されたものにする必要はなく、荒削りでも各自の問題意識や得意とする領域を尊重したものとし、事前研究会を開催しながらシンポジウム関係者で「小さな協同論」を創っていくという点を大切にしたい。
- ④ コメンテーターは、これまでの学会シンポジウムの継続性も意識して中堅の研究者による総括コメント方式をとり、報告の補完的役割も果たしてもらいながら「小さな協同論」の体系化をめざしていく。

## ●プログラム●

受付開始		9:30
会長挨拶	柳沢 敏勝 (明治大学)	10:00~10:10
実行委員長挨拶	北島 健一 (立教大学)	10:10~10:15
座長解題	北川 太一 (福井県立大学)	10:15~10:30
第1報告	高梨子 文恵 (広島大学)	10:30~11:05
	農業・農村の構造変化と「小さな協同」 —農協による協同組織の育成・連携の可能性—	
第2報告	早尻 正宏 (山形大学)	11:05~11:40
	山村地域の再生と「小さな協同」 —広域合併下における森林組合の課題—	
第3報告	副島 久実 (水産大学校)	11:40~12:15
	漁家のくらしの向上と「小さな協同」 —漁村女性起業グループの活動展開—	

	屋 食	12:15～13:15
第4報告	米澤 旦 (明治学院大学)	13:15～13:50
	労働統合型社会的企業による社会的包摂の方向と「小さな協同」 —労働・福祉問題への協同組合関与の可能性—	
コメント	大高 研道 (聖学院大学)、杉本 貴志 (関西大学)	13:50～14:20
	休 憩	14:20～14:35
総合討論		14:35～15:50
	休 憩	15:50～16:00
◇ 学会部会報告		16:00～16:45
	① 女性と協同組合研究部会	
	② グローバリゼーションと協同組合研究部会	
	③ 持続可能な地域社会の形成と協同組合研究部会 (福島の今後を考える)	
閉会挨拶		16:45～16:50
懇親会 (立教大学新座キャンパス・太刀川記念交流会館)		17:00～19:00

※ タイムスケジュール、報告者のタイトル等が少し変更する場合があります。学会 HP で掲載しますので、ご覧ください。

#### ◇ 2013 年度第 2 回理事会

下記のとおり理事会を開催しますので、ご出席ください。

- ・日時：2014 年 5 月 16 日 (金) 18:00～20:00
- ・場所：明治大学 (駿河台キャンパス・研究棟)
- 主な議題：第 34 回秋季大会の内容について

#### ◇2014 年度学会賞 (「学術賞」「奨励賞」「実践賞」及び伊東勇夫基金に基づく「学会誌賞」) の推薦をお願いします (再掲)

推薦期間：2014 年 1 月から 2014 年 6 月 30 日 (土) までの 6 ヶ月間。

推薦対象

学術賞：本学会に 5 年以上継続して所属している会員。2014 年 5 月末までの 3 年 5 ヶ月間に刊行された著書、論文またはそれに準ずるもの。

奨励賞：本学会に 3 年以上継続して所属している会員。2014 年 5 月末までの 3 年 5 ヶ月間に刊行された著書、論文またはそれに準ずるもの (対象論文等刊行時 40 歳未満)。

学会誌賞：本学会会員で、本学会誌『協同組合研究』に論文を執筆した 45 歳未満の会員。

実践賞：3 年以内に刊行・発表された実践活動の記録がある者 (団体)。

推薦方法：2 名以上の本会普通会员の連名による推薦を得る。選考対象の研究業績の現物、著者または著者代表者の業績一覧及び履歴書各 1 部を添えて推薦状を提出する。推薦する場合には、学会事務局 (J C 総研) に連絡のうえ、所定の推薦書様式を入手して下さい。

## ◇ 第34回大会（愛媛大会）の開催について（第1報）

※ 詳細が決まり次第、順次学会 HP で掲載していきますのでご覧ください。

日 時：2014年10月24日（金）～26日（日）

場 所：愛媛大学農学部

実行委員長：中安 章（愛媛大学） 事務局長：板橋 衛（愛媛大学）

プログラム（予定）

10月24日（金）

13:30～17:00 地域シンポジウム

テーマ：「地域の暮らしを支える協同の取組－愛媛県下の実践－」（仮題）

座 長：板橋 衛（愛媛大学）

報 告：4～5名の現場からの報告を検討中

18:00～20:00 理事会

10月25日（土）

9:00～12:00 個別論題報告・テーマセッション

12:10～12:50 会長挨拶・会員総会

13:00～14:30 大会基調講演 大沢 真理（東京大学）

「日本の男性稼ぎ手モデルの現実と近未来の生活保障に向けた政策課題  
～非営利・協同セクターに何ができるか～」（仮題）

14:45～17:45 シンポジウム

「非営利・協同セクターでの仕事と働き方

～働かなきゃならんから働く人 ここで働きたいから働く人～」（仮題）

18:00～20:00 懇親会

10月26日（日） 9:00～16:00 頃 エクスカーション

開催地周辺における漁協・農協等の見学、伊方原発「止める会」関係者のお話を伺う予定です。（コースが変更になる場合があります。確定次第、HP に掲載し、次号のニュースレターでご案内します）

### ■ 大会開催方式の変更について

北川 太一（企画担当副会長）

小山 良太（企画担当常任理事）

今秋の愛媛大会では、常任理事会で議論を重ね、開催校のご理解も得ながら、以下のように従来の方式からの変更を行います。

#### ① 「地域シンポジウム」を平日（金曜日）に行う

会員外の方も含めて、実践家の方々が参加しやすくなるように配慮したものです。

#### ② 「シンポジウム」の時間帯を半日に集約

今大会では、まず大会基調講演として協同組合を取り巻く情勢やこれからの協同組合のあり方等について広い視野からお話をいただき、参加者が共有します。そのうえで、講演と関連するシンポジウムを開催します。従来に比べて時間は短くなりますが、コンパクトで中身の濃い議論が行われることを期待します。

#### ③ 従来の「個別論題報告」に加えて「テーマセッション」を設定し、土曜日の午前に行う。

テーマセッションは、科学研究費や共同研究プロジェクトなど、グループで報告を行ってもらうものです。要領は次のとおりです。

- 1) 全体の報告時間は1.5時間～2.5時間
- 2) 報告方法は、個別論題報告に準じる
- 3) 座長はグループから出してもらおう（学会に希望することも可能）
- 4) 質疑は、報告ごとに行う、もしくはまとめて行うなど、グループに委ねる

なお、土曜日に開催するのは、若手をはじめとした報告者にも懇親会に参加いただき、議論・交流を深めてもらうことを目的としています。

- ④ 個別論題報告・テーマセッションの申込締切日を従来より早く設定（募集方法は下記を参照）  
個別論題報告も含めた大会プログラムを、できるだけ早く会員の皆さんにお知らせするためです。座長等が決定次第、学会のHPにアップします。

なお、こうした大会方式の変更は、次年度以降必ずしもすべて継続するわけではありません。問題点を洗い出しながら、会員の多様なニーズに応え、実践と理論が結びつくような協同組合学会らしい議論が深まるために、引き続き常任理事会等で検討していきます。会員の皆さまの忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

### 第34回大会 「個別論題報告」および「テーマセッション」の募集について

10月25日（土）午前9:00～12:00（日時に注意）に、個別論題報告およびテーマセッションが行われます。多数の応募をお待ちしています。

個別論題報告・テーマセッションともに、締め切り日は次のとおりです（締切厳守）。

- ① エントリー（報告テーマ）の締め切り 7月31日（木）
- ② 報告要旨提出の締め切り 8月7日（木）

要旨の提出先

〒100-6837 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル  
JA 全中経営対策部 経営課 杉林 剛（編集担当常任理事）  
TEL 03-6665-6004 FAX 03-3217-5073  
E-Mail sugibayashi-go@zenchu-ja.or.jp

【申し込み要領】

下記①～④を明記して、電子メールで応募してください（7月31日（木）必着）。

- ① 報告のタイトル（テーマセッションの場合は、全体テーマおよび各報告のテーマ）  
⇒出来る限り変更のないようにしてください（大幅な変更は認められません）。
- ② 会員氏名（テーマセッションの場合は、報告者に加えて代表者氏名も明記）
- ③ 所属機関
- ④ パワーポイント使用の有無

【個別報告要旨原稿の書き方及び提出方法】＊厳守してください。

個別報告を申し込まれた方は、原稿のフォーマットを送りますので、それに従って原稿を作成し提出してください。要旨（本文）は、1題につきタイトルも含めてA4版で1枚を厳守していただきます。和文で1,302字（42字×31行）、英文の場合は400語となり、図表がある場合はその分の字数が少なくなります（電子メールで8月7日（木）必着）。

### ◇学会の新ホームページのご案内

学会ホームページがこの度、生まれ変わりました。新しいアドレスは下記のとおりです。

<http://coopstudies.jimdo.com/>

(新ホームページの扉写真)



### ◇メーリングリストの移行について

現在、一部の会員（約 140 名）で使用されている YAHOO! のメールリストですが、4 月半ばにサービス停止となります。

このため、学会広報担当で、新たなメール配信サービスに移行する準備を進めています。

同封の春季大会参加の申込みハガキに、参加の有無によらず、メールアドレスをご記入のうえ、返送いただきますよう、お願い致します。

この機会に、改めてメールリストを通じた会員相互の情報交流を促進したいと考えます。また、広報担当からも新メールリストを活用して情報提供に努めたいと思います。

ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### ◇会費納入のお願い

2013 年度の会費納入をお願いいたします。2012 年度の会費が未納の方もいらっしゃいます。学会運営へのご協力をお願いいたします。会費は年 6,000 円（学生会員は 3,000 円）です。

郵便振替	加入者名：日本協同組合学会	口座番号：00140-5-557520
農林中央金庫	本店（958）日本協同組合学会	口座番号：NO. 5026910